

渡名喜村渡名喜「朝起き会」

集落
部門

美しいふるさとづくり (平成14年度認定)



渡名喜村の渡名喜集落は、国の重要伝統的建築物群保存地区であり、道路より低い土地に宅地があるということでも有名である。

また、集落内は白砂に覆われた集落道が縦横に走っており、かつての沖縄の集落を思い起こさせ、まさに癒しの空間を形成している。

特に、集落内の清掃活動は児童生徒が積極的に参加しており、島への愛着を深め豊かな生活文化を営むために、必要不可欠な毎朝の行事となっている。

児童、生徒による「朝起き会」は80年余りの歴史を持っている。

毎週、月、水、金の3日、6時半に学校へ集まり、ラジオ体操をした後、7時から集落内に出向いて、白砂の道にほうき目を入れる習慣が継承されている。

清掃活動への皆出席者は、毎学期毎に父母らから表賞を受ける。こうしたことも励みとなり、子供達の活動を支えていく。

